



# 大西さとし 市議会だより

2017. 7  
No.025

## 高松市議会 平成 29 年 第3回(6月)定例会の報告



### ◆第3回(6月)定例会

高松市議会は、6月8日から6月22日までの15日間の日程で、平成29年第3回定例会(6月議会)を開催し、平成29年度一般会計補正予算など16議案と、意見書1件を可決したほか、議員提出議案2件を否決しました。

また、陳情1件を不採択としたほか、人事案件30件に同意しました。

### ◆代表質問

本議会では私自身代表質問を行い、市政全般について行政の考えを質しました。(質問項目および質問内容・答弁概要の抜粋は裏面に掲載)

### ◆高松市・台湾 基隆市(キールン) 交流協定 締結

#### ○交流協定の締結

・本市は5月1日、台湾・基隆市(キールン)との間で、相互の理解と交流を深めることを目的とした交流協定を締結いたしました。

#### ○台湾 基隆市

・基隆市は、台湾の北端に位置する海に開かれた貿易・物流の拠点都市であり、基隆港は台湾第2位の貨物取扱量を誇るとともに、クルーズ船が多く寄港するなど、観光においても盛んな都市です。

#### ○高松市と基隆市

・本市と基隆市は、海に開けた都市として共通点が多い他、MICE振興を促進している本市としては、空路の充実による相互の観光交流とともに、多くの観光客が見込める、大型クルーズ船の寄港に対するノウハウや協力など、観光振興において大きな期待がもてる交流協定です。

#### ○日台観光サミット in 四国

・6月1日、日本と台湾の観光関係団体トップが集まる「日台観光サミット in 四国」の本会議が、高松市サンポートのかがわ国際会議場で開催されました。  
・本会議では、日本、台湾双方を往来する2020年の交流人口については、16年の実績、約606万人などを踏まえて、700万人を着実に実現するとともに、900万人の高見も視野に入れて双方が努力するとしたほか、具体的な取り組みとして、地方都市間で友好協定を締結するなど交互交流の促進、鉄道や温泉などテーマを絞った企業の連携、双方向でのクルーズ旅行の企画、スポーツイベントを通じた若年層の交流促進などが盛り込まれたとされています。

#### ○今後のMICE・観光振興

・台湾・基隆市との交流協定、「日台観光サミット in 四国」での確認事項を、効果的に活用していくことは、本市の目指す、観光振興・MICE振興にとって非常に大きなチャンスであるため、官民および関係機関との更なる連携など、一層の取組が進められるよう、議員としての役割を果たして参ります。

大西 智

## 6月定例会 代表質問の項目と概要(抜粋)

### 1 まちづくりについて

#### (1) たかまつ創生総合戦略

##### ① 同戦略の進捗状況と課題

##### ② 目標達成に向けた見通しと決意

(2) 高松市公共施設再編整備計画(案)における官民連携の考え

### 2 防災・減災対策について

(1) 香川県地域防災計画修正を受けて、高松市地域防災計画への反映に対する考え

(2) 高松市地域防災計画の修正スケジュール

### 3 子育て支援について

(1) 待機児童対策

① 国は待機児童の解消に向けた目標時期を先送りしたが、本市は目標時期に変更はないのか。

② 子育て世帯の多岐にわたる保育ニーズに対する受けとめ

(2) 子供の遊び場・居場所づくり

① 街区公園の整備状況と、今後の整備の考え

② 子供の居場所づくりの状況と、今後の取り組み

③ 公園遊具や照明の改善など、公園施設の安全確保に対する考え

④ 子供の体力・運動能力の向上や、健康増進に向けた公園の活用についての考え

### 4 学校関係について

(1) 学校施設整備

① ユニバーサルデザイン導入の考え

② バリアフリー化の状況と、今後の取り組み

(2) 学校施設修繕

① 修繕における方針

② 学校からの施設修繕要望に対する予算措置の状況

③ 安全点検と修繕状況

### 5 ICT推進について

データ収集・分析等を行う共通プラットフォーム等の構築における概要と、今後の方向性

### 6 観光振興について

(1) 台湾基隆市との交流協定締結、及び2017日台観光サミットin四国の結果に対する受けとめと、今後の交流促進にどのように生かしていくのか。

(2) 外国人を含む観光客誘致に向けた、高松港への大型クルーズ船の誘致促進の考え

### 7 平成28年度市民満足度調査について

(1) 同調査の結果に対する所見

(2) 今後の取り組みに、どのように反映していくのか。

## ○ 質問（大西）

平成27年10月策定の「たかまつ創生総合戦略」は、人口減少の克服と地方活力の向上に向け、本市の実情に応じた目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものであり、戦略期間は、平成27年度から31年度までの5年間である。

当該戦略は、政策分野ごとに設けた目標及び数値目標を示した「基本目標」および、本市の最上位計画である第6次高松市総合計画との関連を示した「施策の基本的方向」、また、主な取組内容とそれを評価するための重要業績評価指標（KPI）を示した「具体的な施策」等で構成している。

基本目標は、「人口減少を抑制する戦略」として3項目、「人口減少社会に対応する戦略」として2項目を設定し、具体的な数値目標を設定しており、

「人口減少を抑制する戦略」における目標は、

- ・平成31年に本市の主な観光施設等利用者数を、現状値の650.9万人から、657万人
- ・平成31年に1年間の転入と転出の差である社会増を、現状値の289人から 1,000人
- ・平成31年までに合計特殊出生率を、現状値の1.62から 1.68

であり、

「人口減少社会に対応する戦略」における目標は、

- ・平成31年に自立高齢者率を、現状値の78.9%から 76.4%
- ・平成31年に用途地域内の人口比率を、現状値の64.0%から 64.3%

である。

今年度は、当該戦略開始から3年目の年であり、計画期間の中間年となることから、目標達成に向けては、これまでの施策執行による戦略の進捗状況や、新たに直面した課題に対する的確な認識と、迅速かつ適切な対応が、重要な年である。

そこで[1-(1)-①]たかまつ創生総合戦略の進捗状況と課題は。

## ◆ 答弁（市長）

本市の創生戦略においては、人口減少を抑制する戦略と、人口減少社会に対する戦略の下、平成31年における、5つの基本目標を掲げ、適宜、施策・事業の拡充も図りながら、地方創生に向けた各般の取り組みを、本市の総力を挙げて展開しているところである。

基本目標ごとの進捗状況は、

- ・主な観光施設等利用者数は、28年度末時点で、約690万人と、既に目標を上回っている
- ・1年間の転入と転出の差である社会増は、28年は590人の増と、約6割程度の達成
- ・合計特殊出生率は、本市が独自に行っている調査によると、ほぼ横ばい傾向
- ・自立高齢者率は、28年度末時点で、79.3%で、目標達成に向けて好ましい状況
- ・用途地域内の人口比率は、28年度末で、63.9%と、前年度とほぼ同様の状況

このように、2項目が順調に進んでいる一方、3項目については道半ばの状況であり、目標達成に向けて、引き続き、国の政策と方向性を一つにしながら、大都市圏等からの転入者増や出生率の向上などに資する取組に、引き続き、注力していく必要があるものと存じている。



たかまつ創生総合戦略

2015-2019

平成27年10月  
高松市

# 活動日記



4 / 22  
高松市議会  
第 2 回 議会報告会



4 / 23  
木太地区  
第 43 回 町民大運動会



5 / 1  
連合香川  
第 88 回 香川県メーデー中央集会



5 / 1  
高松市  
高松市・基隆市 交流協定締結式



5 / 19  
オイスカ高松推進協議会  
第 7 回 総会



5 / 20  
高松北ライオンズクラブ  
献血推進ボランティア



6 / 9  
四国電力総連  
第 37 回 定時大会



6 / 11  
木太地区  
防災訓練



6 / 16  
四国ドック労働組合  
市政報告会



6 / 24  
政策研究フォーラム  
香川県連絡会 第 10 回 研修会



7 / 9  
サンポート高松トライアスロン  
ボランティア



7 / 10~12  
会派行政視察  
渋谷区・文京区・台東区・中野区

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒761-8550

高松市室新 973-1 高松電気ビル 5階

TEL(087)880-7772 FAX(087)880-7783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730

